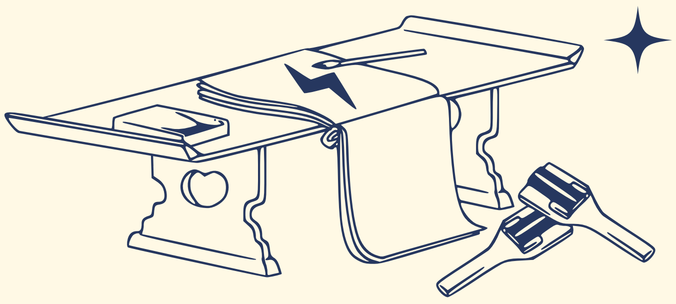
地元の文化と情報を発信する

冬号 2025 寺子屋瓦版（てらこやかわらばん）



伝統の新形態

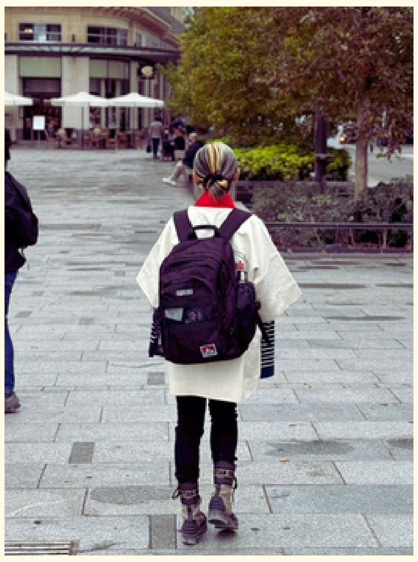
和紙は和紙だけにあらず。

和紙生地：松久永助紙店
生地印刷：(株)坂口捺染

美濃和紙で作られた生地からハッピ製作

　ユネスコ無形文化遺産に登録されている美濃市の伝統工芸品『美濃和紙』。その美濃和紙で織られた生地をご存知ですか？

　和紙を紙糸に加工し、綿と合わせて織ることで紙布を織りあげるというもの。紙だからといって侮るなかれ。なんとこの生地、普通の布と同じように洗濯もできるのです。今回はそんな美濃和紙生地を使って、日本から世界へ向けたダンスプロジェクト「祭Re:dance music project」の半纏を製作しました。



ヨーロッパ、和紙生地を着て街歩き。

美濃地方の伝統をまとって、フランスはパリ、そしてドイツはフランクフルトやケルンをぶらり散策。それぞれに親日家の多い国ということもあり、すれ違う人が声をかけてくれたり、カフェで話しかけられたり。そして、「これ、和紙で出来てるんです。」この一言で会話もぐっと盛り上がる。現地の方々との交流アイテムとして大活躍の美濃和紙半纏。地元の銘品が、世界とつながるハブになる。伝統の品というのは、硬派で洗練されてるだけじゃない。このようなフランクな役目も担ってくれるのですね。

行く年来る年、そして除夜の鐘つき

寺子屋の年越し

年越しに富加町加治田にある光宗寺さんで除夜の鐘をついてきました。しんと澄んだ真夜中の空気に響き渡る荘厳な音。お寺の駐車場では大きなかがり火がパチパチと燃え､それを囲んで地元の人々が新年の挨拶を笑顔で交し合っている。その素敵な光景をぼんやりと眺めつつ、人との出会いがいっぱい詰まった１年間に思いを馳せました。２０２５年に電気と踊る寺子屋の活動を応援してくれた、たくさんの人たちに感謝です。

タウンホールとみか・清流里山公園

ボールペン画展示

　先日、理事の山田が制作した作品をタウンホールとみかにて展示していただきました。見てくださった方々、どうも有難うございました。皆さんの温かな感想は、活動の大きな励みになっています！

　現在は美濃加茂市・清流里山公園のやまびこ学校、２階にて展示中。来年度はイベントでの貸し出し展示も実施予定です。

情報は電気と踊る寺子屋のインスタグラムアカウントで発信してゆきますので、ぜひフォローしてみてくださいね。

本格機材を触っていじって遊びながら電気制御が学べる！！ 中高生向け電気制御ワークショップ **でんでん塾**

世代を超えて楽しむ鳴子踊りメンバー大募集中！ 地域密着全世代型鳴子踊りチーム **ながら**

『面白いを力に！』電気制御×鳴子踊り
文化と技術、ふたつの力で未来にパワーを！
中濃地域、長良川流域の地域コミュニティ

発行：一般社団法人 電気と踊る寺子屋